



宝永小だより

No.17

福井市宝永小学校

令和6年11月15日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

6年生 戦国時代に思いを寄せる 10月29日(火)

福井県では、学校と文化施設が連携して「ふれあいミュージアム」という出前授業を行い、子どもたちの文化・芸術を楽しむ素地づくりを進めています。この日は、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館歴史教育専門員による「戦国城下町一乗谷の遺跡と遺物に学ぶ」という「ふれあいミュージアム」を実施しました。



<破片を手にする子どもたち>

博物館の仕事について学んだ後、戦国時代の焼き物について解説していただきました。そして、子どもたちは、皿や茶碗等、貴重な出土品を手にし、じっくりと眺めながら、戦国時代に思いを寄せていました。

3年生 校外学習で、様々な体験 10月31日(木)

社会科「工場のごと」と「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」の学習の一環として、「おさごえ民家園」と「安田かまぼこ工場」へ校外学習に出かけました。

「おさごえ民家園」は、福井市指定文化財で、江戸時代に建てられた越前・若狭の古民家です。古民家の中を実際に見学し、昔の家の特徴について説明を聴きました。さらに、昔の暮らしや道具に触れることができました。実際に、石臼で大豆を挽いたり、ゴザボウシを着用したりする体験ができました。

「安田かまぼこ工場」では、働いている方の苦労や工夫等、工場の説明を聴いた後、ガラス越しに多くの機械を見ることができました。かまぼこの原型「蒲(がま)の穂」作り体験では、「つけ包丁」という専用の道具を使って、竹の棒にすり身を巻き付けていきました。それを焼いていただいて完成です。また、筒の中に、すり身を入れて、熱湯の中に押し出す、「魚そうめん」作りもしました。さらに、できたての「ちくわ」を試食して、子どもたちは大満足でした。



<石臼体験>



<ゴザボウシ体験>



<いろり体験>



<「蒲の穂」作り体験>



<「魚そうめん」作り体験>

2年生 「やったあ!」サツマイモを収穫 11月1日(金)



<サツマイモ掘りの様子>

子どもたちが校庭の畑に植えたサツマイモが大きくなり、収穫作業を行いました。子どもたちが土を掘っていくと、いくつものサツマイモが顔を出しました。子どもたちは、サツマイモを傷つけないように、丁寧に土の中から取り出していました。たくさんのサツマイモが収穫できて、子どもたちは大喜びでした。中には、子どもたちの顔よりも大きいものもあり、歓声を上げていました。

<2年児童の感想>【いもほりをしたよ】今日、いもほりをしました。いもがふかいところにあつたけど、しっかりほって、小さいいもや大きいいも、丸いいも、いろんないもをとって、かごいっぱいになりました。キャラメルポテをたくさんつくって、1年生に食べさせてあげたいです。また、いもほりしたいです。

メディアマスター週間の前に、「情報モラル講習会」 11月7日(木)

PTA 会員交流委員会主催で、福井市教育委員会 学校教育課 指導主事 ○○ ○○ 様による、「親子で学ぶ情報モラル」という講習会を実施しました。これは、教育ウィーク期間中に実施しました。



子どもたちは、ネット依存等の健康被害やネットでのトラブルについて学びました。また、動画では、知らない人とつながることで、個人情報さらしてしまうことの危険性について知り、恐怖を感じる場面もありました。11月18日(月)からのメディアマスター週間を前に、今後の使い方を深く考えさせるものでした。子どもたちの感想や参加された保護者の皆様の感想からも、学びの多い講習会であったことが分かります。ご家庭で、ルールを決めたり、安全設定をしたりして、メディアと上手に付き合ってもらいたいです。

<1年児童の感想>めがわるくなるのは、していたけど、あたまがわるくなるのはしらなかったです。はじめてしりました。こんどからはゲームは30ぶん、やすみのひは1じかにします。インターネット・SNS・YouTubeはおとなといっしょにじかんをきめます。

<2年児童の感想>インターネットで、しらない人とやりとりしたら、大へんなことがおきるんだなと思いました。インターネットでも、はんざいがあるということ、今日、はじめて知りました。今までは、あまり時間をまもれてなかったので、こんどからは、まもれるようにしたいです。

<3年児童の感想>しり合いともトークみたいなのをやっているけど、しらない人もやっているの、しり合いがいいの人とやっていると、あのどうがを見て、しらない人の方をさくじょをしようと思いました。あんなにこわいことがおきるなんて思いませんでした。今日は、ありがとうございます。

<4年児童の感想>スマホやゲームを使いすぎてしまうと不登校になってしまったり、勉強がついていけなくなったりしてしまうことが分かりました。わたしは、今日のことを頭にのこして、時間をきめて、スマホやゲームを見たいと思います。動画で見たみたい、自分の家や、いろいろな情報をだれにも教えてはいけないということが分かりました。

<5年児童の感想>インターネットを見ている小学生の平均が、3時間46分と聞いて、びっくりしました。わたしは、いつも1時間くらい見ているけど、勉強は宿題だけをして、家の勉強は30分もしないでいます。テストの正解りつがひくくなるのを知って、なおしていきたいです。前頭前野を使うために、1日1回は音読をしたいです。緑内しようやインターネットしようがいい、いぞんしようなどにならないように、日ごろから気をつけていきたいです。

<6年児童の感想>ぼくは、ゲーム時間やインターネットを利用した時間は、気分転かんくらいでいたいなと思いました。また、脳を育てるときは、言葉を辞書で調べて力をつけたり、将棋などをしたりして、考える力を養うようにしようと思いました。ゲームなどの遊んで使うときと、ニュースなどの情報を知りたいときとで、時間のルールを変えるといいと思いました。これからは、自分が熱中できるスポーツもしながら、気分転かんをする感じでインターネットを利用したいです。



<保護者の皆様の感想>…貴重な感想を寄せいただき、ありがとうございます。

・最近、まだ1年生の娘が、タブレットで YouTube を長時間も見るようになってきたことが、かなり気になっていて、今日の講習会がどれだけ1年生の胸に届くのかも知りたく、参加させていただきました。講習会の内容は分かりやすく、初めて知るような情報もあったので、興味深かったです。家に帰って、娘に感想を聞いてみたところ、「タブレットを長い時間、見続けると怖いということがわかった。1時間でやめるようにがんばる。」と言ってくれたので、うれしく思いました。多分、そのルールもまた忘れてしまうのと思うので、注意深く見守りたいと思います。

学年に応じて、学級で、補足説明をしたり、内容を確認したりしました。

・1年生には難しい言葉がたくさん出てきて、果たして、話の内容が理解できたか疑問です。

低学年用にわかりやすく話すには、どうしたらいいか？今のところ、我が家では、ママが、見てもいいものだけを見せています。大人の世界で、世の中が動いているので、トラブルや被害に遭遇しないよう、時には話し合ったりしないといけないなと思いました。情報モラルは、親子で学ぶものだとつくづく思いました。いいお話が聞けて良かったです。ありがとうございます。

・とてもわかりやすい説明をありがとうございました。改めて、タブレットの見すぎは色々なことに悪影響が出るということがわかりました。娘は3年生で、すでにLINEやオンラインゲームをしていて、親がいくら注意しても、「聞く耳持たず」でしたが、今日の動画を見て、「怖かったー。」と言っていたので、少しは危機感を覚えてくれたようです。だんだんと親の言うことを聞かなくなっていくので、このような講演会は、とてもありがたいです。ありがとうございました。

・ゲーム中毒、不登校になってしまう子との関連など、我が子だけでなく、自分自身にとっても、タイムリーな話題でした。「ゲームがやめられない」という気持ちも納得です。10分だけと決めていても、いつの間にか数時間経過して、睡眠時間が削られていくのです。子どもばかり責められないなと思い、恥ずかしい限りです。時間を守るための工夫があれば教えていただきたいです。

・子どもにも分かりやすく、具体的な内容で、とても良かったと思います。他人事ではなく、リアルに身近な問題であり、今後も、定期的に、このような情報をいただくとありがたいです。子どもと一緒に聞いたので、家でも、この話題で、話し合いたいと思います。本日は、本当に、ありがとうございました。

・お話は理解できましたが、ルールを作ったりする過程がなかなか難しいし、各家々で事情も異なり、いざ我が子がスマホ依存になったら、アタフタするばかりだと思います。そんな時には、かけ込み寺的に、愛護センターに行けばよいのですか？今は、まだ小学生で、親の目も、まあまあ行き届いてはいますが、年齢が大きくなるにつれ、心配が募ります。毎日の暮らしの中で、話しやすい家庭であるよう心掛けたいと思いました。話が聞けてよかったです。

・貴重なお話を聞く機会をありがとうございました。SNS、ゲームなどはすぐ身近なものであり、だからこそ、家族で話し合っ規則を決めていくことが大切で、今回のお話を聞いて、子ども自身も、そう思ったようでした。心と体が大きく成長する時期に、子ども時代にしかできない日々を過ごさせたいと改めて思います。今後も、このようなお話を子どもたちに向けて伝えてもらえる場があると良いなと思いました。

【〇〇先生より】
「ルールをどうやって決めたら良いか。」などの相談でしたら、愛護センターでもできる限りの対応をさせていただきます。しかし、依存症が疑われる場合やより専門的な相談をしたい場合には、県の精神保健福祉センター(ホッとサポートふくい)において、様々な依存症に関する相談や依存症回復プログラム、依存症家族教室等の取組をされていますので、こちらへのご相談をお勧めいたします。

*11月10日(日)のPTA 環境整備作業では、早朝にもかかわらず、多くの保護者の皆様のご参加をいただき、ありがとうございました。エアコンフィルター・扇風機・トイレの掃除・窓拭き等、普段の清掃では行き届かないところも、大変綺麗になりました。お陰様で、学校中が明るく感じられ、気持ちよく学校生活をおくることができている。

*11月18日(月)~24日(日)は、メディアマスター週間です。そのため、今回、教育ウィーク期間中の「情報モラル講習会」のことを、先に、本号に掲載させていただきました。この期間は、メディアの利用について目標を決め、メディアの時間を意識して守る取組をすることになっています。進明中学校区共通の取組でもあります。「情報モラル講習会」で学んだことを生かして、取り組んでほしいと思います。そして、今回の取組が、前回よりも、よりよいものになることを期待しています。

*今年度も、宝寿会の皆様が、校庭の除草や落ち葉拾いをしてくださいました。(お知らせが遅くなり、申し訳ありません。)お陰様で、快適な環境で、教育活動を進めることができている。また、宝永ラジオ体操の会の皆様が、毎朝、児童玄関前のプランターに水やりをしてくださっています。お陰様で、子どもたちが植えたマリーゴールドとベゴニアが、夏の猛暑にもめげず、今現在も、生き生きと美しい花を保ってくれています。さらに、ご近所の皆様が、毎日のように、本校の周りの樹木の落ち葉拾い等をしてくださっています。お陰様で、常に綺麗な状態を保っていただいています。地域の多くの皆様に支えられて、本校の教育活動を進めることができることは、本当に有難いことです。感謝申し上げます。